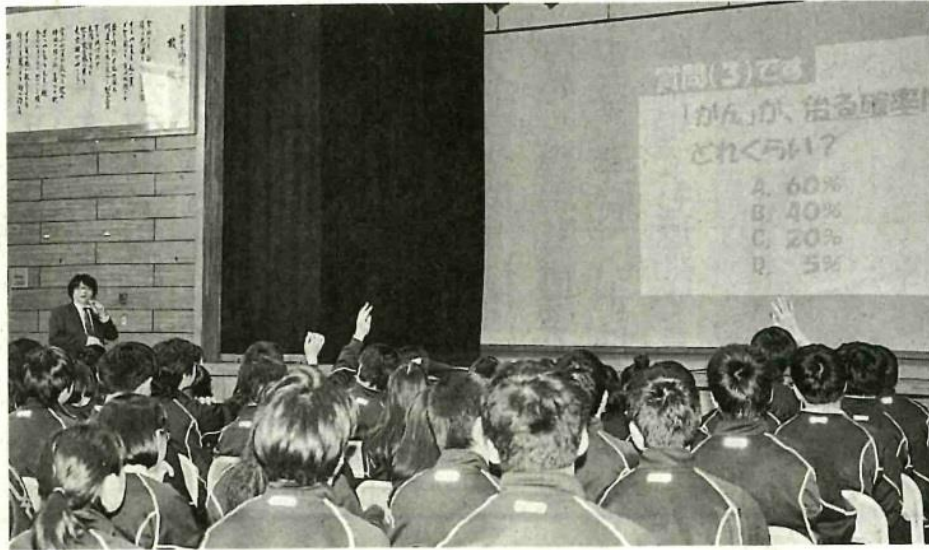


胃がん予防 中学生も知識を

製鉄室蘭病院 前田院長、翔陽中で授業

がんを防ごう

室蘭・翔陽中(東町)で、胃がん予防を学ぶ授業が行われ、製鉄記念室蘭病院の前田征洋院長が、



胃がんの原因となるピロリ菌などについて説明した。

若いうちから胃がんの知識を深めてもらおうと、前田院長は3年前から市内の中学校で授業を行っている。翔陽中では14日に3年生89人が受けた。

前田院長は消化器疾患の専門。ピロリ菌について「中学生のうちに除菌すると胃がんの予防になる」と説明した。中学生を対象に実施しているピロリ菌の検査について、1次検査で陽性だった場合、2次検査も無料で受けられることを紹介した。

同校の学級委員の北川勇充さん(15)は「がんについてより詳しく知ることができた。自分も気をつけて生活したい」と話していた。

(高野裕美)

▲ 翔陽中で行われた胃がん予防を学ぶ授業